



# 広島国際学院高等学校 同窓会報

第22号 2021年2月27日発行  
発行者 広島国際学院高等学校同窓会  
(旧広島電機大学附属高等学校同窓会)  
広島県安芸郡海田町曾田1-5 Tel. 082-823-3401  
http://www.hi.hkg.ac.jp/  
印刷 株式会社 ニューズアンドコミュニケーションズ

## コロナ禍に立ち向かう 愛の絆を深めよう



同窓会会長 竹内 正彦 (S34年卒)

今年もまた、瀬野川のせせらぎの音や、日の浦山の木々の色に春の息吹を感じる季節がやってまいりました。

新たな春が訪れると、別離、そして一方では、新たな出会いが繰り返されるのが世の常です。会員の皆様、お変わりございませんか。皆様には、日頃より、同窓会に絶大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。「新型コロナウイルス」の猛威により世界中の人々が不安に包まれた令和2年でしたが、今年2月に入り、収束の兆しも見えてまいりました。しかし、まだ予断を許さない状況です。同窓生の皆様方の生活にも多大なる苦悩が生じているのではないかとお察し申し上げます。コロナ禍のため、令和2年度に計画しておりました、同窓会の様々な行事は中止を余儀なくされました。例年、6月に広島市内にて賑々しく開催していた総会・懇親会は中止となり、総会のみ母校にて挙行いたしました。また、毎年各地域支部で行われていた支部総会・懇親会も残念ながら全て中止となりました。令和3年度はこれらの行事が予定通り行えるようになることを願ってやみません。さて、母校に目を向けてみ

ましよう。今年3月1日に卒業される同窓生は、502人となります。また昨秋に開催されたオープンスクールには、約2,400人の中学生・保護者が学校見学に来校しました。我らの母校が、広島県内の高校の中でいかに人気があるかを証明しています。さらに、コロナ禍の中、「オンライン部活」など、様々な創意工夫を凝らしながら前向きに頑張っています。「教育は愛なり」の建学の精神のもと、青春時代を共に過ごした仲間、そして、先輩後輩の絆を大切にしながら、共に母校の発展を祈りましょう。

## 学校法人広島国際学院 新理事長ご挨拶



理事長 森崎 恒夫

この度学校法人広島国際学院理事長に就任いたしました。学園のさらなる発展のため、微力ながら尽力していきたいと思っております。さて、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大が続き、学校は年度のスタートから1か月半に及ぶ休業を余儀なくされました。そしてあらゆる学校行事が中止や延期、縮小となり、学校生活も大きな制約を受けることとなりました。

高3生の中には、高校最後の思い出となるはずの県総体も開催されず大会に出ることなく卒業を迎えた生徒もいます。2学期から各クラブの大会は感染症対策を十分行い、無観客又は限定的観客数の中での開催となりました。そのような中で本校では剣道部、空手道部、硬式テニス部、ゴルフ部、陸上競技部、バドミントン部、吹奏楽部などが優勝や準優勝、金賞などの成績を残してくれました。

学校上げての行事としては唯一文化祭を外来者なしで実施することができました。テーマ「Link」に基づいてそれぞれのクラスが動画を作成し、クラスの団結ぶりやアイデアを競い合う初めての企画に挑戦しました。まさに近頃の若者らしい表現で、クラスのまとまりを感じさせてくれる斬新なアイデアが満載でした。学校が変わってきていることを実感させてくれる知的文化祭であったと思います。

本校は今年から普通科だけの学校となりました。6か年教育も教育の特色が徐々に知られ、本校を第一希望とする生徒が増えてきています。一方では急激な少子化が迫り、生き残るためにさらなる知恵を絞らなければならないと思います。今後とも、同窓生の皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 令和2年度同窓会総会



副会長 山田 雅昭 (S41年卒)

令和2年1月16日、日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認され、そのとき今の状況を想定できた人がどれほどいたでしょうか。その後、国からのイベント開催等に関する要請をうけて、本年度の同窓会総会は令和2年6月27日(土) 母校会議室において開催されました。総会は、竹内正彦会長の挨拶に始まり、来賓の森崎恒夫校長の挨拶の後、議長に源亮氏(平成23年卒)が選出されました。続いて「令和元年度活動報告」、「令和元年度決算報告・監査報告」があり、審議の結果可決承認されました。次に「役員改正」があり、副会長の奥田幸一氏、横田良治氏、会計監査の上村直樹氏、下木正秋氏の4名が退任されました。新しく副会長に山吹富邦氏、書記に星埜拓哉氏、会計に呉洗星氏、会計監査の川本康裕氏、静川徹哉氏5名の役員を加え、可決承認されました。続いて「令和2年度活動計画」「令和2年度予算案」が提案され、審議の結果いづれも原案通り可決承認されました。その後、退任役員、新任役員からの心のこもった挨拶をいただきました。世界的規模での新型コロナウィルス感染症の影響は長期

化する懸念が、世の中が混沌とし不安定な状況ではありますが、またの再会に希望を託し、短いながらも充実した総会は閉会となりました。



R2.同窓会総会

## 令和2年度 同窓会役員

会長	竹内 正彦 (S34年卒)
副会長	山田 雅昭 (S41年卒)
副会長	山吹 富邦 (S44年卒)
副会長	岡田 隆夫 (S63年卒)
幹事	小笠原 文雅 (S42年卒)
事務局長	清次郎 (H15年卒)
書記	星埜 拓哉 (H24年卒)
書記	呉洗星 (H18年卒)
会計監査	川本 康裕 (H9年卒)
会計監査	静川 徹哉 (H9年卒)

## 同窓会新幹事紹介

令和2年度卒業生の14名が新たに同窓会の幹事に加わりました。これから幹事会及び同窓会総会のお世話をしていただく方たちです。よろしくお願ひします。



## 同窓会奨学金給付証授与式



同窓会奨学金給付証授与式

10月27日、母校校長室で「同窓会奨学金給付証授与式」が行われました。毎年、学業が優秀かつ学校の模範となる生徒に対し、同窓会より奨学金を給付し、今後の勉学のさらなる向上を後押しするものとして創設されたものです。同窓会役員から竹内会長、山吹副会長が出席され、給付者2名に給付証が手渡されました。在校生の模範となり、勉学に励むよう竹内会長ならびに、森崎校長から激励の言葉が贈られました。



同窓会の皆様へ



副校長 岡田 隆治

『ピンチをチャンスに変える国際生』

日頃より同窓生の皆様方には本校教育をご支援いただき、心から感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により、御苦勞や不自由を抱えておられる皆様も多いと存じます。一日も早くこの厳しい状況を乗り越えられるよう心より祈念しております。

さて、昨年3月頃から新型コロナウイルス感染症の拡大により、臨時休業や学校行事の中止、規模の縮小、そして部活動の制限による感染防止対策を行ってまいりました。

新学期に入っても、4月上旬から5月下旬までの1か月半の間、全国に緊急事態宣言が出され、生徒の目標としていた大会や行事は中止となりました。

この決定により感染拡大は抑えられ、ようやく復調の兆しが見えてきた所での、第2波、そして第3波が押し寄せた現状に、全生徒の心への影響は計り知れません。

生徒が楽しみにしていた文化祭については、11月中旬の開催であることから規模を縮小し、在校生のみの開催を余儀なくされました。本校の文化祭は今回で59回目を迎えました。テーマを「Link」に決定し、「人と社会の繋がりを改めて見つめなおしてみよう」という位置づけで開催しました。例年と比較すると多くの制約がありました。が、そのような中でも生徒たちは感謝の気持ちを持って乗り越えようと知恵を出し合い努力し

ていました。このような社会情勢の中では、今年度はピンチの年かもしれないが、前を向いて進もうとしている生徒たちの姿から、チャンスに変えようとする意気込みが伝わってきました。

部活動においても、男子硬式テニス部の全国選抜高校テニス大会出場、陸上競技部の男子第62回中国高等学校駅伝競走大会進優勝など、その他多くのクラブが出口の見えないコロナ禍の中でも、日々心身を鍛え、自分の夢に向かって努力し、その実績を積み重ねています。

以上、現在までの学校の様子を報告させていただきました。これらは先輩方の良き伝統を受け継いだ成果にほかなりません。これからも母校を見守りいただき、応援していただければ幸いです。

今後ともどうかよろしくお願いたします。

クラブ紹介

男子ソフトボール部

高校ソフトボール界に新たな旋風を巻き起こすべく、日々努力しています。また、ソフトボールは人間的成長を遂げる場であると考え、多くのことを経験・吸収することを大切にしています。近年では力を付け、県大会入賞や中国大会への出場も果たしました。チーム力を武器に今後必ずや観る人を熱くさせる試合をしていきます。



放送技術研究部

放送技術研究部は現在1年生1名、2年生5名、合計6名で活動しています。昔はアマチュア無線、コンピュータ、ロボット製作、放送と活動していましたが、現在は放送関係を中心にアナウンスと機材操作などを部活動を通して学んでいます。体育祭や文化祭、オープンスクールなどで裏方として活躍しています。イベントで来校されたときは校内放送に耳を傾けてみてください。



剣道部

11月に開催された広島県高等学校新人剣道大会におきまして、男子個人戦で普通科2年2組の寺上尚毅が優勝(団体個人合わせて初優勝)、男子団体戦で準優勝という結果をおさめました。



家庭科部

今年度の家庭科部は、中学生と高校生を合わせて計17名の部員で活動しています。入部理由の多くが、「将来一人暮らしするために料理ができるようになりたい」という理由です。そのため、部員同士で考えながらレシピ作成や調理を進めています。また、昨年度より小中高ホームソーイングコンクールに作品を出すため、ミシンでパタードレッシングやウエディングドレスなどを制作しています。入賞できるといって、完成度を高めていきます。



県代表として3月に開催される中国高等学校新人剣道大会に出場します。団体初優勝まではあと一歩でしたが、今回の結果を自信にしてさらに精進してまいります。目標は男女とも全国大会出場です。今後とも応援よろしくお願いたします。



中学校紹介

広島国際学院中学校は、設立2年目を迎え全生徒58名で、生徒全員に圧倒的な経験値を積みながら、生徒一人ひとりの個性を見据えた指導を行っています。中でも総合学習を「百錬錬磨」と名づけ、週5時間もの豊富な授業時数で質の高い独自の実践学習に取り組んでいます。「日本文化」「アカデミック」「グローバル」「ボランティア」「アウトドア」の5テーマで展開する多彩な体験を通して人生をたくましく生き抜く力を培います。

中学校では、大学入試改革に対応できる「学力」と「人間力」を兼ね備えた「グローバル教養人」を育成すべく、日々教職員が一丸となり、生徒の力を最大限に伸ばす取り組みを実施しています。



地球環境と技術の高みをめざす (測量・建設コンサルタント)



中国工務株式会社

〒731-0101 広島市安佐南区八木8丁目21-28

(TEL)082-873-2069 (FAX)082-873-2079 http://ckc.rgn.jp



一般区域陸上貨物運送業

山陽運送有限公司

<本社> 〒731-4323 広島県安芸郡坂町横浜中央2丁目10番4号 電話 082-885-2233 FAX 082-885-3420

<廿日市支店> 〒739-0425 廿日市市物見山2丁目7 TEL/FAX 082-955-2616





がんばっている卒業生

ゴルフ界にきら星

「アマ世界」でプロでも優勝

金谷 拓実 (H28年卒)



© JGTOimages

母校ゴルフ部出身の金谷拓実さん(東北福祉大4年)が、2020年9月、世界一のアマチュア選手に贈られる「アマコーマックメダル」を、日本ゴルフ界史上初めて受賞されました。金谷さんは、高校2年の時、日本アマ選手権に出場し、見事史上最年少優勝、大学2年次には、アジア・パシフィック・アマ選手権でも優勝されました。そして、金谷さんに更なる注目の目が向けられたのは、大学3年秋(2019年)、日本男子プロゴルフ界4人目の快挙となるアマチュア選手によるトーナメント優勝時でした。その後も国際舞台で大活躍されました。そして、2020年10月、金谷さんは、大学生ではありましたが、プロ選手としてデビューされ、1戦目、2戦目はベスト10入り、11月に開催された3戦目、ダンロップフェニックストーナメントにおいて、見事優勝の栄冠を勝ち取られました。わたしたちの同窓生の中から金谷さんのようスターが誕生したことを誇りに思い、これからも皆で金谷さんを応援してまいります。

第58回技能五輪全国大会

洋菓子製造職種金賞受賞

永田 咲良 (H31年卒)



広島製菓専門学校 洋菓子科に所属している永田咲良です。このたび、第58回技能五輪全国大会洋菓子製造職種で第1位となる金賞を受賞いたしました。この大会では3つの課題があり、今大会では「スポーツ」というテーマに沿った飴細工1台、3種類各3体計9体の人形を作るマジパン細工、抹茶と栗を使用したアントルメシヨコラ(ムースケーキ)2台を7時間で制作するという課題でした。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年より練習時間の確保が難しく、大会開催についても非常に大きな不安がありました。結果を報告することができ、とても嬉しく思います。また、今大会は2022年中国上海にて開催予定の技能五輪国際大会に向けての日本代表選考も兼ねており、国際大会への出場権を得ることができました。今後は、今大会に向けて準備を進めております。広島製菓専門学校から技能五輪国際大会に出場するのは私が初めてで、来年の大会開催まで日本代表という責任感や不安は大きいですが、出場するからには世界一を目指して頑張って参りますので、応援のほど、よろしくお願ひいたします。

支部だより

支部や会の報告



坂支部長 林 昭治 (S41年 電気科卒)

6月27日(土)同窓会本部の役員会及び総会に参加。8月に坂支部役員会を開催し、コロナ禍のため総会資料を会員に配布して期限を決めて意見を求めた結果、承認を得ました。



矢野支部長 鳴石 隆信 (S34年 電気科卒)

支部会は毎年7月頃に総会・懇親会を開催しています。昔話で和やかな時間を過ごしています。支部会に参加され、楽しく過ごしたいですね。



安浦支部長 原岡 政輝 (S43年 機械科卒)

2年前の豪雨災害時に安浦町内で多くの方が被災されました。今年「新型コロナウイルス」の影響で活動を中止せざるを得ませんでした。来年こそ一人でも多くの同窓生に声をかけ、親睦を深めたいと思っています。現在、同級生5人が主に活動しています。



海田支部長 森川 貴生 (S39年 機械科卒)

総会は毎年8月に開催しています。役員会、総会後は懇親会を行い親睦を図っています。高校地元の支部ですが会員不足が悩みです。



熊野支部長 藤井 正信 (S38年 機械科卒)

コロナ禍で支部総会は全く開催しておりません。早く正常に戻り、活動できることを祈るのみです。



山県支部長 下木 正秋 (S42年 機械科卒)

山県郡から車で1時間30分。昭和41年卒業以来欠かさず同窓会に宿泊で参加されている、安芸太田町の森脇公雄氏を紹介いたします。



故西本五郎先生と森脇公雄氏



安佐支部長 竹田 操 (S44年 機械科卒)

支部創立二十二年が過ぎ、会員の顔ぶれも変わり減少の一途であります。今年はコロナ感染の為に活動はすべて中止となりました。一日も早い終息を願っております。



電消会会長 今岡 敬明 (H5年 電気科卒)

当会は、現会員数18名で活動しており、毎年3月に「定例会・懇親会」を開催しています。会員一同、同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



陸上競技部OB会会長 鳴石 隆信 (S34年 電気科卒)

陸上競技部OB会は毎年6月頃に総会・懇親会を開催しています。和やかな有意義な時間を過ごしています。OB会に参加されて楽しく過ごしたいですね。



吹奏楽部OG会会長 山本 慎二 (H14年 普通科卒)

例年であれば3月にOB・OGの定期演奏会を開催しています。6月に行う現役の定期演奏会では、生徒の保護者と共にスタッフとして、演奏会の運営を行っています。

教育訓練給付制度 教習料金の最大20%の給付を受けることができます(条件有)
大型自動車、大型二種、フォークリフト、牽引自動車、大型特殊等、ドローン講習
教習科目: 大型二種・中型二種・普通二種、大型一種・中型一種・準中型車、大型特殊・牽引・大型二輪、普通二輪・普通車・原付・高齢者講習
●入校日は毎週水・土・日曜日
●矢野・西条・黒瀬・熊野・安芸津・呉・安浦・阿戸・高屋方面9路線を網羅無料スクールバス運行
●日曜・祝日も営業
●教習料金分割制度(36回まで)



同窓会名簿作成について

このたび、十数年ぶりに同窓会の会員名簿を発行する運びとなりました。十分な協議の結果、同窓会の目的である卒業生相互の親睦を図るため、母校の発展に寄与するためには、会員名簿が必要不可欠であると判断いたしました。個人情報保護法遵守が大前提であるため、当作業は、県内や全国で多数実績があり、プライバシーマーク取得のデータ整備専門会社である(株)サラトへ委託しております。発行は令和3年9月下旬を予定しており、会員の皆さまには掲載内容確認票を発送し編集作業を進めてまいります。まだご返信いただけていない方や、確認票が到着していない方がいらっしゃれば、至急同窓会事務局または左記フリーコールまでお知らせください。 ※令和3年卒業の皆さまには、改めて掲載内容確認票を発送(4月5月)いたしますので、ご協力いただけると幸いです。なお、大変申し訳ございませんが、確認票の返信時期によっては情報修正が間に合わず、この会報の郵送と行き違いになっている場合がございます。確認票にて修正指示いただいた内容を間違いないよう掲載いたしますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

新任役員紹介



副会長 山吹 富邦 (S44年卒)

この度、副会長の役をお引き受けすることとなりました。昭和44年卒の山吹富邦です。これまで本部の幹事に名を連ね熊野支部の支部長を務めて参りました。 現在母校は生徒数の多いマンモス校となっております。同窓会を一つにまとめることは大変ですが、在校生達が少しでも楽しい学校生活を送れますよう会長を補佐していきたいと思っております。自分自身も同窓生の方々と和を大切に、実のある同窓会になりまますよう微力ながら頑張りたいと思っております。



会計監査 静川 徹哉 (H9年卒)

この度、会計監査に任命されました平成9年普通科卒業の静川徹哉です。 同窓会の目的である「卒業生相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する」ことを尊重し、微力ではございますが、諸先輩方の良き伝統を受け継ぎ、与えられた任務を全うしたいと存じます。 どうか、よろしくお願いいたします。



会計監査 川本 康裕 (H1年卒)

この度、会計監査に就任しました川本康裕です。 はなはだ微力ではございますが、同窓会の発展に誠心誠意尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



書記 星埜 拓哉 (H24年卒)

この度、書記を拝命いたしました平成24年普通科卒業の星埜拓哉です。 母校の伝統の継承と発展のために、尽力してまいります。 また、母校をさらに勢いのある学校にするために、同窓会の皆様からのお力添えをいただきたく存じます。 まだまだ未熟な私ではありますが、よろしくお願いたします。

- 令和2年度 同窓会活動中間報告
- 4月2日(木)・・・役員会
  - 4月24日(金)・・・役員・幹事・支部長合同会議
  - 6月27日(土)・・・合同会議・総会
  - 10月13日(火)・・・役員会
  - 10月27日(火)・・・同窓会奨学金給付証授与式
  - 11月5日(木)・・・同窓会報編集会議

2021年度総会でお会いしましょう!  
「総会・懇親会」のご案内

- ◆期日・・・2021年6月26日(土)
- ◆場所・・・ホテルセンチュリー21広島 082-263-3111

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更の可能性があります。  
同窓会ホームページからお申し込みください。  
お問い合わせ 広島国際学院高等学校 同窓会事務局 ☎082-823-3401

退任役員紹介



副会長 奥田 幸一 (S43年卒)



副会長 横田 良治 (S44年卒)



会計監査 上村 直樹 (S42年卒)



会計監査 下木 正秋 (S42年卒)

学園短信

今年度は世界的に新型コロナウイルスの脅威にさらされ、本校でも4月から5月にかけて休業となるなど、大きな影響を受けました。体育祭などの行事が中止となり、文化祭も一般公開なしのものとなるなど、生徒にとっては物足りない年になってしまいました。そのような中でも、勉強やクラブ活動などで生徒たちが努力を重ね、多くのクラブが県大会や中国大会で優秀な成績を残し、進学面でも大きな成果をあげております。新型コロナウイルスの猛威が収束し、学校としても一日も早く元の日常に戻ってくるように願っています。

会 計 吳 洗星 (H18年卒)

編集後記

同窓会報 第22号の発行にあたり

編集委員長 桐原 隆 (S63年卒)

この度のコロナ禍により同窓会、支部会、学校行事等の活動を自粛せざるをえない状況となっております。皆様方におかれましても御苦労の多いこと存じますが、通常通りの活動が早く出来るよう祈念し編集後記といたします。

広島国際学院高等学校 同窓会ホームページ

母校の現況報告や同窓会活動のご案内、また、同窓生の交流の場として運営開始しました。

- ◆総会・懇親会出欠受付が簡単!!
- ◆随時更新で年間の予定も把握できる!!
- ◆住所変更も入力だけで簡単!!

その他にも、会長挨拶、同窓会役員名簿、写真館、同窓会報誌バックナンバー、同窓生掲示板などメニューも豊富です。お気軽にホームページへお越し下さい。

株式会社 トンポ 広島支店

〒733-0842 広島市西区井口5丁目3-4  
TEL (082)270-5121 FAX (082)270-5123

制服のことなら キョーリツ

スクールユニフォーム

- 紙屋町店 広島市中区紙屋町2丁目3-4 TEL (082) 246-7878 (アストラム本通駅前)
- 本通り店 広島市中区紙屋町2丁目3-25 TEL (082) 248-0480 (サンモール前)
- 五日市店 広島市佐伯区五日市駅北口11丁目3-18 TEL (082) 921-8800 (福屋前)

管内カメラ調査・排水管高圧洗浄 貯水槽清掃・パイプつまり修理

東広島市上下水道指定工事店

株式会社 トラスト設備サービス

西条町助実1064・2  
TEL082-424-1646 FAX082-424-1647